



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

URL <https://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大山 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 岡本 伸一 (TEL) 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,844	14.9	2,202	75.3	2,416	61.5	1,586	67.7
2023年3月期第1四半期	27,707	6.6	1,256	△19.2	1,496	△11.4	946	△18.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,502百万円 (127.8%) 2023年3月期第1四半期 1,098百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	45.30	—
2023年3月期第1四半期	26.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	127,138	79,720	59.1
2023年3月期	132,874	81,482	57.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 75,129百万円 2023年3月期 76,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	27.00	—	22.00	49.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 ボンド発売70周年記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	62,000	6.6	4,350	50.7	4,500	39.2	2,900	△58.8	81.90
通期	129,000	4.6	9,300	25.3	9,700	22.4	6,200	△38.2	175.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

親会社株主に帰属する当期純利益が前年同期と比べて大きく変動している要因は、2023年3月期の第2四半期決算において、固定資産の譲渡による固定資産売却益として、71億84百万円の特別利益が発生したためです

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー 、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	40,707,440株	2023年3月期	40,707,440株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	6,859,001株	2023年3月期	5,298,801株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	35,018,589株	2023年3月期1Q	35,640,060株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢や資源・エネルギー価格の高騰、円安進行といった経済活動に影響を与える状況は長期化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、新たに策定しました「中期経営計画2026(2024年3月期～2026年3月期)」に基づき、新規開拓の強化や成長分野への注力の推進、また生産・物流・DX関連に過去最大規模となる設備投資を行っていくことにより、さらなる事業拡大と経営の効率化を図るべく、当中期経営計画を開始しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高318億44百万円(前年同四半期比14.9%増)、営業利益22億2百万円(前年同四半期比75.3%増)、経常利益24億16百万円(前年同四半期比61.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億86百万円(前年同四半期比67.7%増)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ボンド

一般家庭用分野においては、コンビニエンスストア向けは堅調に推移しました。住関連分野においては、建築コストの上昇傾向が継続し新設住宅着工戸数の持ち直しの動きは鈍く、内装工事中用接着剤の販売数量は前年同期並みとなりました。産業資材分野においては、自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤の販売数量が増加しました。建築分野および土木分野においては、工事案件が少なかったこともあり建築補修用や建築・土木用シーリング材の販売数量は減少しました。

接着剤やシーリング材に使用される原材料価格の高騰は継続しているものの、経費削減や原価改善の取り組み、製品販売価格への転嫁が進捗し、売上高、営業利益は伸長しました。

以上の結果、売上高は174億45百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益は14億48百万円(前年同四半期比64.5%増)となりました。

② 化成品

化学工業分野においては、樹脂原料が減少したものの、放熱材料の販売が伸長しました。自動車分野においては、ハイブリッド車向け商材が好調に推移しました。一方、電子電機向け商材は、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等の個人消費者向け商品の需要低下の影響を受け、利益が減少しました。また、丸安産業(株)においても、コンデンサ用商材や半導体製造装置に使用される商材が減少しました。

以上の結果、売上高は94億80百万円(前年同四半期比14.9%増)、営業利益は2億94百万円(前年同四半期比18.9%減)となりました。

③ 工事業

工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が引き続き好調に推移し、進行基準工事案件の進捗も良好であったため、関係工事会社5社ともに売上・利益は大きく増加しました。

以上の結果、売上高は48億74百万円(前年同四半期比47.4%増)、営業利益は4億24百万円(前年同四半期比1,475.4%増)となりました。

④ その他

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は44百万円(前年同四半期比1.8%減)、営業利益は25百万円(前年同四半期は14百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ57億36百万円減少し、1,271億38百万円となりました。

① 資産

流動資産は、電子記録債権が4億74百万円増加したものの、現金及び預金が51億2百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が13億6百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ65億76百万円減の878億57百万円となりました。固定資産は、投資有価証券が11億47百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億40

百万円増の392億80百万円となりました。

② 負債

流動負債は、未払法人税等が29億60百万円、支払手形及び買掛金が7億75百万円、賞与引当金が4億89百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ46億4百万円減の412億51百万円となりました。固定負債は、長期借入金が10百万円減少したものの、その他が6億23百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億29百万円増の61億65百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が8億7百万円、その他有価証券評価差額金が6億95百万円増加したものの、マイナス項目である自己株式が33億98百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億62百万円減の797億20百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2023年4月28日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,195	27,092
受取手形、売掛金及び契約資産	34,752	33,445
電子記録債権	14,667	15,142
商品及び製品	9,355	8,990
仕掛品	314	310
原材料及び貯蔵品	1,640	1,573
その他	1,565	1,361
貸倒引当金	△57	△58
流動資産合計	94,434	87,857
固定資産		
有形固定資産	25,746	25,760
無形固定資産	1,188	1,257
投資その他の資産		
投資有価証券	8,084	9,231
その他	3,440	3,049
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	11,506	12,262
固定資産合計	38,440	39,280
資産合計	132,874	127,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,983	33,207
電子記録債務	3,728	3,298
短期借入金	48	48
1年内返済予定の長期借入金	60	51
未払法人税等	3,298	338
賞与引当金	1,152	662
役員賞与引当金	131	32
その他	3,450	3,612
流動負債合計	45,856	41,251
固定負債		
長期借入金	116	105
退職給付に係る負債	645	662
その他	4,774	5,398
固定負債合計	5,536	6,165
負債合計	51,392	47,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,557	4,557
利益剰余金	69,450	70,257
自己株式	△5,904	△9,302
株主資本合計	72,707	70,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,611	3,307
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	450	532
退職給付に係る調整累計額	1,206	1,172
その他の包括利益累計額合計	4,268	5,013
非支配株主持分	4,507	4,590
純資産合計	81,482	79,720
負債純資産合計	132,874	127,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	27,707	31,844
売上原価	22,411	25,554
売上総利益	5,295	6,289
販売費及び一般管理費	4,039	4,087
営業利益	1,256	2,202
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	113	110
為替差益	83	72
持分法による投資利益	7	9
その他	50	40
営業外収益合計	256	235
営業外費用		
支払利息	1	2
減価償却費	6	12
その他	8	5
営業外費用合計	16	20
経常利益	1,496	2,416
特別利益		
固定資産売却益	2	0
その他	0	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産処分損	0	25
投資有価証券評価損	11	—
その他	0	—
特別損失合計	13	25
税金等調整前四半期純利益	1,485	2,391
法人税、住民税及び事業税	235	380
法人税等調整額	235	332
法人税等合計	471	713
四半期純利益	1,014	1,678
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	946	1,586

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,014	1,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	755
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	201	72
退職給付に係る調整額	△18	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	21	29
その他の包括利益合計	84	824
四半期包括利益	1,098	2,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,018	2,331
非支配株主に係る四半期包括利益	80	171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,560,200株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,398百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が9,302百万円となっております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	16,107	8,247	3,306	27,661	45	27,707	—	27,707
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	89	106	—	195	20	216	△216	—
計	16,197	8,353	3,306	27,857	65	27,923	△216	27,707
セグメント利益又は損失(△)	880	362	26	1,270	△14	1,256	△0	1,256

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	17,445	9,480	4,874	31,799	44	31,844	—	31,844
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	52	—	128	18	147	△147	—
計	17,520	9,533	4,874	31,928	63	31,991	△147	31,844
セグメント利益	1,448	294	424	2,167	25	2,193	8	2,202

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。